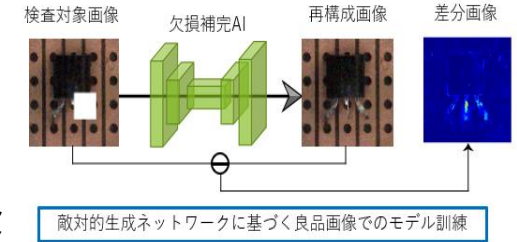


課題名 多様かつ直感的なアダプテーション機能を有する継続的に利用できる外観検査AI技術の開発

プロジェクトの概要

自動車部品などの工業製品の製造過程における外観検査は、品質管理の最後の砦として非常に重要なプロセスである。一方で、コスト面や使い勝手等の問題により、導入はまだまだ進んでいない状況。そこで本プロジェクトでは、①限られた不良画像からも効率的にAIモデルを訓練でき、②実環境に対応する強力なアダプテーション能力を両軸とした自動外観検査AIを開発する。



ビジネスモデル(申請時)

多様な自動外観検査を実現するAIモデルの実装や、購入者が直感的に操作できるユーザインターフェースを備えたソフトウェアを開発する。後者は既存のARグラス等のハードウェアに組み込んだ上で提供する。また、現場支援、人材育成、コンサルティング、モデル管理プラットフォームなどのサービスも提供する。

活動計画(申請時)

コスト面や使い勝手等の問題により、自動化が進んでいないAI外観検査業務において、多様かつ直感的なアダプテーション機能を有し、かつ長期的に運用可能な外観検査AI技術の試作品の開発を行う。

また、数社とPoC実施しながらAIモデルの改良、提供価値の見極め、及び事業化に向けてどこまでの技術をパッケージ化するかのビジネスモデルの仮説検証を行う。

- 支援期間終了後
- 2023年度
 - ・複数の実証実験を行い、優位性を確認。
 - ・ニーズに応じたAIモデルの改良。
- 2024年度
 - 起業。大手メーカー（自動車関係）への導入実績作り。
- 2025年度
 - 他業種（半導体・食品加工）への応用。

